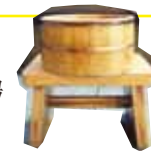


建物?もちろん! 秋川溪谷 瀬音の湯 燃料だって多摩産材



椅子と桶だって多摩産材

お湯よし、景色よし、お土産よし!

三拍子揃ったここ、東京都あきる野市にある「秋川溪谷 瀬音の湯」は、多摩産材をふんだんに使って建てられた温泉施設。ぐると山に囲まれ、秋川溪谷に沿うように建てられた建物は、柱や梁が見えるつくりで、入り口から建物の端まで一気にのびる通路(緑側ギャラリー)は、柱が奥まで規則的に並び、すこし大きな伏見稲荷の千本鳥居といった雰囲気。天井は高く、壁も全面ガラス張りで建物の中とは思えない開放感。

お風呂場では椅子や手桶も木製で、秋川に面した露天風呂ではちょっとした森林浴までできちゃいます。

気になる泉質はアルカリ性単純泉。pH10.1とアルカリ度が高く、とろ〜り柔らかいお湯で、湯上がりお肌はしっとりすべすべ。もちろん内風呂は源泉かけ流しです。コテージタイプの宿泊施設も併設されていて、週末ともなると予約をとるのが難しい程なんです。

お湯からあがったら、カフェやテラスでゆったり。地元野菜や特産品を扱う物産販売所であれこれお買い物するのも忘れずに♪これを一番の楽しみにしていただろうって?そんなことないですよ。

さて、瀬音の湯では、建物はもちろん、施設の床暖房と約27度で汲み上げられる源泉も多摩産材を燃料にバイオマスボイラーで温められています。施設内のバイオマスボイラー室には、多摩産材を主に取り扱う地元の製材屋さんや木材屋さんから集められた端材や大鋸屑が入ったコンテナが積み上げられていて、それをひとつフォークリフトで運んでは炉にくべられます。炉の中は約850℃。くべる木材の大きさにもよりますが、一番大きな燃料でも1杯1時間程で燃焼してしまうんだそう。雨で燃料が湿っている場合は、燃えやすい大鋸屑を混ぜて、燃焼カロリーを下げすぎないように工夫します。

一日に使う燃料はコンテナの数にして大体7〜8杯分、多くて9杯分。製材所からの燃料だけでは足りなくなって、山に木を採りに行く、なんてこともあるんだそう!毎日20時30分から21時にはバイオマスボイラーを止め、翌朝には炉の中が140℃程、圧力はゼロになっているので、バイオマスボイラーに加えて灯油燃料の補助ボイラーも1時間程稼働させています。

このように製材途中で出る端材や大鋸屑も、燃料にしてきっちり有効活用。あ、ちなみに希望すれば灰も肥料としていただけますよ。文/高橋享子



女湯の露天風呂。木がすぐ傍まで植わっています。

温泉はこの木の箱の下から湧いています。泉質がいいと出るメタンガスが少し出ているんだそう。ガスは空気中に分散し、溜まらないようになっているのでご安心を。



秋川溪谷 瀬音の湯へは、JR五日市線で武蔵五日市駅下車、バス乗り場①番から「瀬音の湯」行きに乗り約17分。

営業時間 10:00~22:00(受付は21:00迄)

料金(3時間) 大人800円 小人400円
未就学児童 無料
貸切風呂は1時間1,000円

所在地 東京都あきる野市乙津565

TEL 042-595-2614

HPアドレス www.seotonoyu.jp

休館日 3・6・9・12月の第二水曜日

宿泊料金(1泊朝食付)※1棟2名利用時

メゾネットタイプ ¥7,500~

テラスタイプ ¥8,500~

宿泊予約は2ヶ月前から受付けています。



男湯の内風呂。高い天井に梁が見える構造は女湯も同じです。



その時 ボイラー室では!?

- 1.ボイラー室の脇に山積みになったコンテナ。
- 2.3.4コンテナを炉の近くまで運びます。
- 5.今まさに炉にくべられようとしている端材。この穴を燃料でいっぱいになるとボタンを押して炉を開き...
- 6.7.自動的に炉の中へ押し出されます。

